

江戸開府400年記念

## 徳川将軍家展

主催：静岡県立美術館、NHK静岡放送局、NHK中部ブレイズ  
 後援：文化庁  
 協力：(財)徳川記念財団  
 企画協力：NHKプロモーション  
 協賛：JR東海  
 会期：平成15年9月20日(土)～10月26日(日)  
 休館日：毎週月曜日、ただし10月13日(月)は開館し、翌10月14日(火)は休館。

2003年は、徳川家康が征夷大将軍に任じられ、江戸に幕府を開いてから400年になる記念すべき年である。家康から15代慶喜までの約260年、幕藩体制を確立し、全国の諸大名の頂点に君臨したのが徳川将軍家であった。江戸開府400年を記念して開催される本展は、徳川将軍家(宗家)伝来の貴重な資料を核にしなが、これまで紹介されることのなかった将軍家の実像に迫る展覧会である。

第1章「徳川家康 将軍家にとっての家康像」、第2章「歴代将軍 二代秀忠から十五代慶喜」、第3章「大奥女人 将軍ゆかりの女性たち」、第4章「公爵二代 明治以降の宗家二代」のほか、「徳川将軍家重代の品」「徳川将軍家伝来の古文書」「徳川将軍家伝来の人形・細工物」のコーナーにより、将軍家秘蔵の資料を様々な角度から紹介した。

江戸時代は、長きにわたり戦争のない平和な世を築いた世界的にも稀有な時代と言われている。江戸開府400年の記念すべき年に、あらためて江戸時代とは何だったか、その頂点にあった将軍家の歴史を通して考える、よい機会となった

なお、本展の入場者は約33,000人で、予想を上回った。70歳以上の入場者が全体の約25%と高く、高齢者に特に人気が高かった。アンケートによると、県内の幅広い地域からの来館があったことも本展の特徴であった。内容については概ね高い満足度が示された。

### カタログ

30.0×22.6cm 240p.

図版・解説

本文

「江戸幕府の政治」上野秀治

「徳川幕府歴代将軍画像について」木村重圭

「静寛院宮後日譚 明治期の親子内親王行実抄」小林 明  
 作品解説

### 関連事業

#### 特別講演会

9月21日(日) 午後2時～3時30分 講堂  
 徳川恒孝氏(徳川記念財団理事長)  
 「徳川時代と現代」

出品目録 p.81参照



ポスター



カタログ